

大落古利根川の地域のイベント



流灯まつり 8月
(杉戸町・宮代町)



春日部夕涼みフェスタin公園橋 8月
(春日部市)



カヌー教室 8月
(松伏町)

大落古利根川で見られる生物

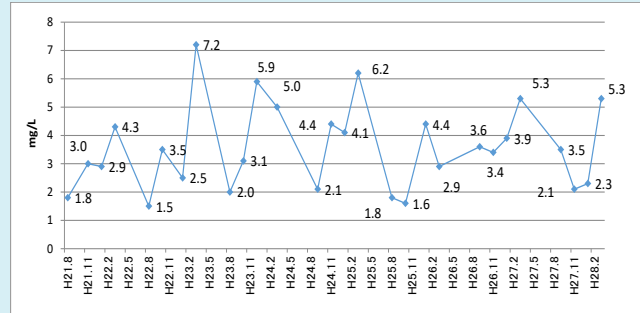


コサギ カルガモ カワセミ
ギンブナ オイカワ カマツカ
アサザ ヒメガマ アシ

上・下段: 埼玉県生態系保護協会春日部支部提供
中段: 平成27年度 河川改修調査工事(冬期通水関連魚類等調査業務委託)

大落古利根川の水質

観測地点: 八幡橋
観測期間: 平成21年8月~平成28年3月
現況水質を把握するため、平成21年度から水質調査(BOD調査)を行いました。
平成28年3月までの結果を見ると、全期間を通して変動はあるものの、ほぼ横ばいで推移しています。古利根堰の開閉によって水量の増減が大きいため、季節によって値の変動が見られます。(参考: 環境基準値 BOD 5mg/l以下)

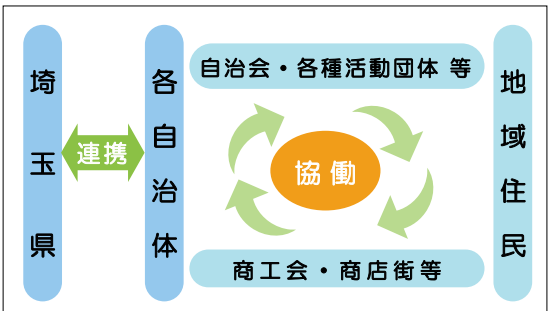


出典: H27年度 川のまるごと再生プロジェクト推進工事(水質調査業務委託その2)

利活用と維持管理

地域が自由に利活用を進めていくためには、地域が主体となって活動し、愛着のある魅力あふれる川にすることが重要です。そのため、各市町では次のような取り組みを行っています。

<p>杉戸町</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊歩道を活用した散策ルートのネットワークの充実 水辺を活用して祭りやイベントを開催 行政と地元の協働による河川の維持管理 	<p>春日部市</p> <ul style="list-style-type: none"> 憩いの場や親しみの場としての利用 散策ポイントを紹介する冊子「川を歩こう」を発行 春日部の「魅力」を歩きつづけるための冊子「かすかべウォーク」を発行 河川広場を地域活性化拠点として活用 行政と地元の協働による河川の維持管理 	<p>松伏町</p> <ul style="list-style-type: none"> 水辺レジャーの活性化や自然生態系の保全 水辺と既存の公共施設とのアクセスを強化した賑わいのあるまちづくり 行政と地元の協働による河川の維持管理
--	--	---



お問い合わせ先

埼玉県総合治水事務所 水系担当・工務担当	春日部市緑町5-5-11	電話: 048-737-2001
杉戸町 都市施設整備課 都市計画整備担当	北葛飾郡杉戸町清地2-9-29	電話: 0480-33-1111(内線374、375)
宮代町 まちづくり建設課 都市整備担当	南埼玉郡宮代町笠原1-4-1	電話: 0480-34-1111(内線342)
春日部市 河川課 雨水担当	春日部市中央6-2	電話: 048-736-1111(内線3464)
松伏町 新市街地整備課 新市街地整備・公園担当	北葛飾郡松伏町大字松伏2424	電話: 048-991-1803

川の国 埼玉

おおとしふるとね

大落古利根川のまるごと再生プロジェクト

杉戸町・宮代町・春日部市・松伏町



杉戸町地内

川のまるごと再生プロジェクトとは

埼玉県では「清流の復活」「安らぎと賑わいの空間創出」を2本柱として、川の再生に取り組んでいます。「川のまるごと再生プロジェクト」は、まちづくりと連携して、線的にも面的にも広がりを持った川の再生を行うもので、大落古利根川を含む17の河川と農業用水で取り組みました。

川のまるごと再生プロジェクトの特長は、

- これまでのスポット的な水辺再生から、ひとつの川を上流から下流まで、まるごと再生します
- 市町村のまちづくりと連携して、面的な広がりを持たせます
- 川や地域の特性に応じた再生テーマを定めて取り組みます
- 県・市町村・地域住民が協働して川の再生を推進します

大落古利根川の位置図

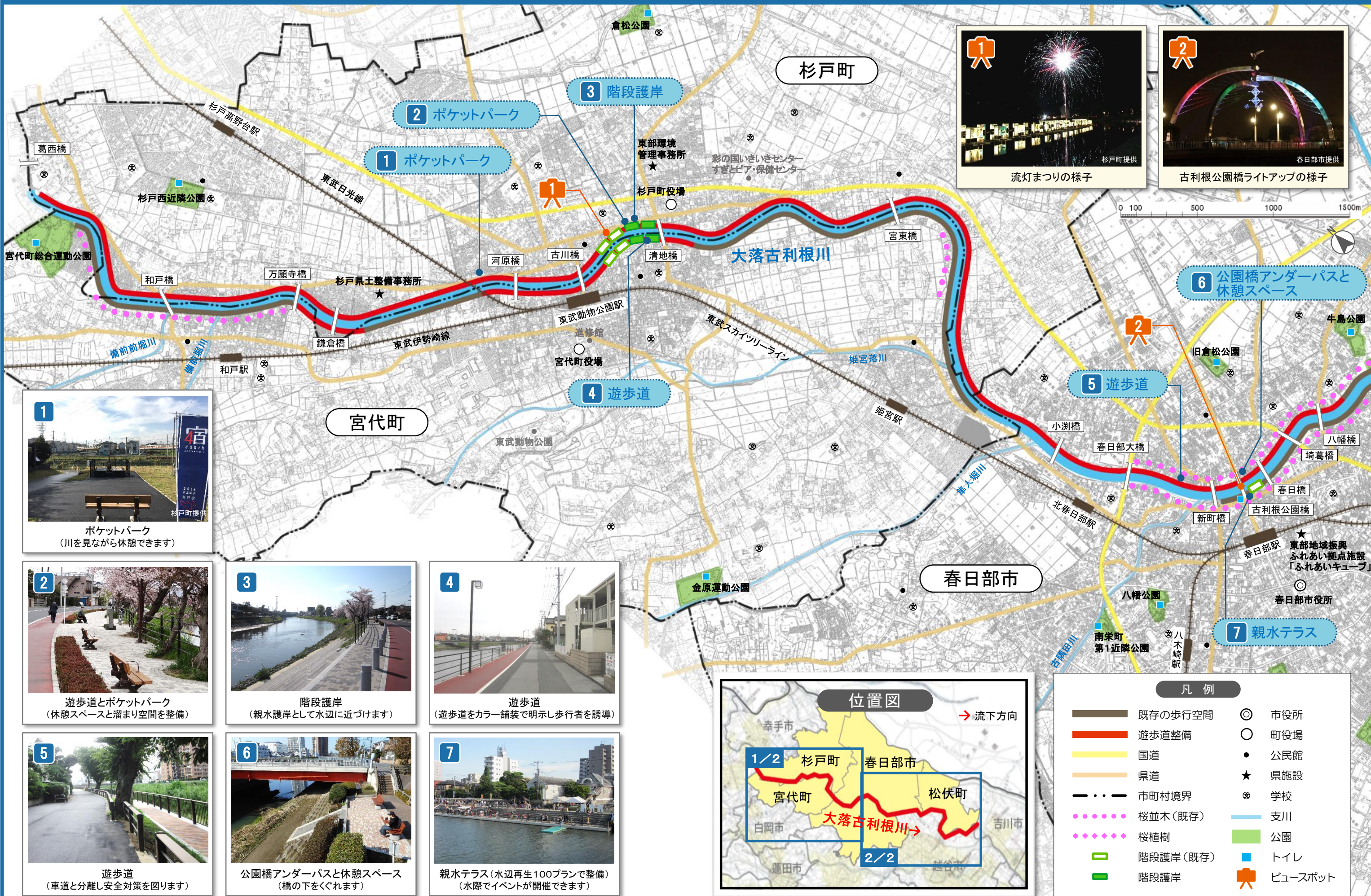


おおとしふるとね
大落古利根川

大落古利根川の概要

おおとしふるとね
大落古利根川は、杉戸町の最北西にある葛西橋から松伏町下赤岩付近で中川に合流するまでの延長26.7km、流域面積182.3km²の一級河川です。その名の示すとおり、古くは利根川の本流として、幾たびかの洪水を引き起こしました。江戸時代の初期に、利根川が現在の流路に付けかえられたため、この流れは大落古利根川として残されました。その後、この川は数回の改修を経て今日の姿となり、中川流域の主要な河川として、また、葛西用水の幹線として治水と利水の両面で重要な働きを担っています。

大落古利根川のまるごと再生プロジェクト整備図 (1/2)



大落古利根川のまるごと再生プロジェクト整備図 (2/2)



川の駅薬師沼親水公園(あずまや)
(憩いの場として利用できます)



ポケットパーク
(休憩スペースを整備しました)



かがり火公園と遊歩道
(親水公園として楽しめます)



アンダーパス
(橋の下をくぐれます)



休憩スペース
(水際で休憩できます)



バス停(下赤岩)
(川沿いコバスを待つスペースを確保しました)

賑わう都市とのどかな田園を肌で感じる大落古利根川の再生

「大落古利根川のまるごと再生プロジェクト」は、河川や沿川地域の特性を活かし、自然と調和し地域住民に親しめる川として、まちづくりと連携して上流から下流までまるごと再生するものです。「大落古利根川のまるごと再生プロジェクトワーキングチーム」(全体会および各分会)を設置し、埼玉県、杉戸町、宮代町、春日部市、松伏町、地域住民の方々や活動団体の方々で計画づくりを行い、整備を実施しました。

杉戸町・宮代町	春日部市	松伏町
にぎわい・川とふれあうまちづくり	自然に親しめる水辺づくり	親しみある水辺にぎわいあるまち
<ul style="list-style-type: none"> ●大落古利根川遊歩道と文化財等のアクセス強化 ●水質浄化対策の推進(合併浄化槽への転換推進) ●東武動物公園駅東口の親水護岸の整備によるにぎわいの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ●「川の駅」の整備 ●大落古利根川遊歩道と周辺地域資源とのアクセス強化 ●回遊ルートの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の特性に応じた休憩施設等の整備 ●公園や文化財等とのアクセスを強化して町の魅力をPR ●大落古利根川周辺の自然生態系の保全

大落古利根川の整備の様子 ～水辺に親しめる大落古利根川に生まれ変わりました～

階段護岸の整備(杉戸町)

整備前



整備後



階段護岸の整備により、親水性が向上しました

遊歩道・照明灯の整備(宮代町)

整備前



整備後



遊歩道をカラー舗装で明示し、照明灯を整備して歩きやすくなりました

遊歩道・川の駅の整備(春日部市)

整備前



整備後



川の駅の整備により、利便性が向上しました

階段護岸の整備(松伏町)

整備前



整備後



階段護岸の整備により、親水性が向上しました

大落古利根川のプロジェクト概要

■整備の考え方と役割分担

大落古利根川の上流から下流まで遊歩道を整備することで、川沿いの連続性を確保するとともに、沿川市町のまちづくりと一体となった整備を行う。

- ・県の役割は、主に河川区域内の施設整備(ハード面)を対象とし、遊歩道や階段護岸などの整備を行う。
- ・地元自治体(杉戸町・宮代町・春日部市・松伏町)の役割は、川とまちづくりの一体を意識した整備(ベンチや照明灯の設置)やソフト対策(広報活動)を行う。

■整備の概要

- 埼玉県：遊歩道、スロープ、階段護岸、フェンス、案内サイン、ポケットパーク整備
- 杉戸町：照明灯、ベンチ、案内サイン、ポケットパーク整備
- 宮代町：照明灯
- 春日部市：川の駅(トイレ、あずまや、ベンチ等)、案内サイン
- 松伏町：かがり火公園(トイレ、あずまや、ベンチ等)、ポケットパーク整備

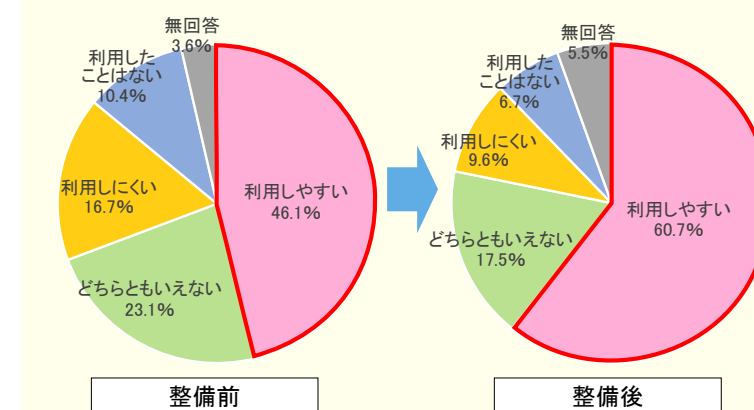
■事業期間 平成24年度～27年度

■事業延長 26.7km

アンケートの主な結果

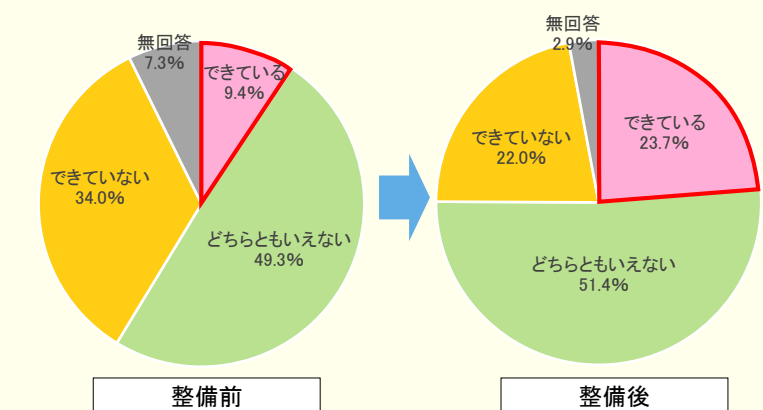
川のまるごと再生プロジェクトの事業効果を確認するため、事業実施前と実施後において、沿川にお住いの地域住民の皆さまにご協力をいただき、アンケート(全20問)を実施しました。

Q. 大落古利根川の川沿いは、利用しやすいですか？



「利用しやすい」が整備前46.1%から60.7%に増加

Q. 大落古利根川を活かしたまちづくりができていると思いますか？



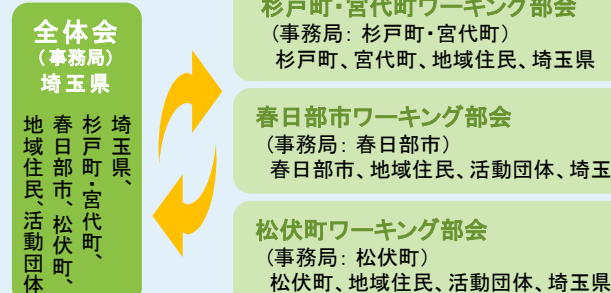
「できている」が整備前9.4%から23.7%に増加

事業経緯 ～地域住民、市民団体と行政(県・市町)による取組内容の検討～

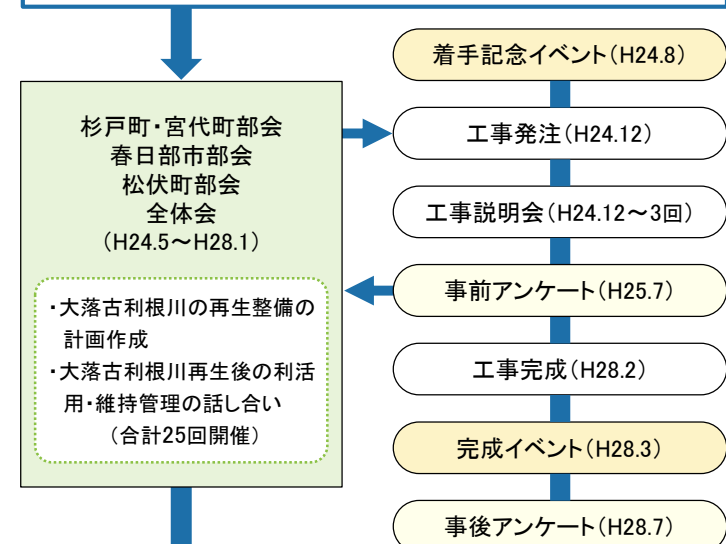
川のまるごと再生プロジェクトの取組検討にあたり、地域住民、市民団体、行政がメンバーになった全体会や各部会が設置され、平成24年5月～平成28年1月に計25回の会議を開催し、大落古利根川における整備内容やまちづくりの取組み、維持管理、利活用等について議論を行いました。



組織図



プロジェクト打ち合わせ(H24.4)



地域住民、自治会・商工会等、市町、県が協働して、地域資源と大落古利根川を活用した魅力あるまちづくりの創出を行います。